**NEWS RELEASE**

2026 年 11 月 6 日
タニウム合同会社

# タニウム、OpenAI の「Trusted Access for Cyber」プログラムに参加
# フロンティア AI でプラットフォームのセキュリティを強化
## ～OpenAI TAC を通じ、フロンティア AI をリサーチとセキュリティ業務に活用し、世界中のお客様に提供する Tanium プラットフォームをさらに強化～

※本リリースは 2026 年 11 月 3 日（現地時間）に米国 Tanium Inc.が発表したプレスリリースをもとに作成しています。

AI を活用した自律型 IT «Autonomous IT» のリーダーである Tanium Inc.（米国カリフォルニア州エメリービル、以下タニウム）は、2026 年 11 月 3 日（現地時間）、OpenAI の「Trusted Access for Cyber(TAC)」プログラムに参加したことを発表しました。これにより、高度な AI 機能を責任ある形で、脅威リサーチおよび Tanium プラットフォームのセキュリティ強化に活用できるようになります。

Tanium プラットフォームは、AI を悪用した脅威に対抗するために、お客様から信頼されているプラットフォームです。

タニウムは以下の 3 つの領域でこの取り組みを進めます。なお、脅威リサーチの成果は、タニウムが既に提供している検知コンテンツを通じてお客様に届けられます。

- **脅威リサーチと検知**：タニウムのスレットハンターは、高度な AI の推論能力を用いて、攻撃者の手法や新たな脅威を分析しています。その研究成果は、お客様に提供される検知コンテンツに反映されます。
- **脆弱性および修復に関するリサーチ**：タニウムのエンジニアは、OpenAI GPT Cyber Models を活用し、脆弱性の調査、優先順位付け、修復に関する新たなアプローチを探求しています。これにより、お客様がより迅速にリスクを低減できるよう支援する方法の改善につなげます。
- **プラットフォームのセキュリティ**：タニウムのセキュリティエンジニアは、Tanium のソフトウェア、クラウドサービス、インフラを守る厳格なセキュリティ施策に OpenAI GPT Cyber Models を加え、新たな攻撃手法に対する防御を強化しています。

AI はサイバーセキュリティの攻撃側と防御側の双方を変えつつあります。攻撃者はすでに AI を使って脆弱性を発見し、通常の活動に紛れ込み、より高速かつ大規模に攻撃を仕掛けています。一方で防御側にも、従来は多くの時間と専門知識を要していた業務に、同じ技術進歩を活用する機会があります。タニウムにとって OpenAI TAC への参加は、攻撃者の行動を研究する専門家と、お客様が依存するプラットフォームを守る専門家が、広く一般には提供されていない高度なサイバー機能を利用できるようになることを意味します。

External Use\General Business - Not Confidential

Tanium のチーフ・オブ・エンジニアリングであるクリスチャン・ハント(Christian Hunt)は、次のように述べています。
「お客様は、環境全体の可視性とコントロールをタニウムに託してくださっており、私たちはその責任を重く受け止めています。TAC により、OpenAI GPT Cyber Models がタニウムのスレットハンターとセキュリティエンジニアの手に渡ります。そこで得られる知見は、より強力な検知、リスク低減への新たなアプローチ、そして攻撃者による AI 活用が進む中でもお客様が頼れるプラットフォームにつながります。」

タニウムの OpenAI TAC への参加は、人による判断と監督を組み込んだ上で、フロンティア AI を責任ある形で活用するという同社の姿勢を示すものです。これにより可能となるリサーチとセキュリティ業務の成果は、お客様の最重要エンドポイントを守るプラットフォームを通じてお客様に届けられます。タニウムは、本プログラムの要件および許可された利用範囲(本人確認、アクセスガバナンス、許可された用途に関する保護措置を含む)に従って運用します。

Tanium プラットフォームの詳細は、ウェブサイトをご覧ください。
Tanium の計画、方向性、意図に関する記述および内容は機密情報であり、Tanium の単独の裁量により、予告なく変更されることがあります。将来の製品または機能に関する情報は、Tanium の製品の一般的な方向性を示すことを目的としたものであり、購入の判断の根拠とすべきではなく、いかなる契約にも組み込まれるものではありません。これらは、確約、約束、または法的義務ではありません。将来の製品または機能の開発、リリース、および時期は、Tanium の単独の裁量に委ねられます。

**■タニウムについて**

タニウムは、自律型 IT «Autonomous IT» カンパニーです。AI がイノベーションとリスクの双方を加速させる中、タニウムの自律型運用システムである Tanium Atlas は、人間か AI エージェントかを問わず、すべての IT およびセキュリティの担当者を、Tanium Autonomous IT Platform の総力で支えます。タニウムは、担当者がエンドポイント環境全体にわたってマシンスピードで検知・判断・修復を行うために必要な、リアルタイムのインテリジェンス、エージェント型の意思決定、そして自律的な実行力を提供します。

タニウムは、2026 年に初めて発表された Gartner® Magic Quadrant™（エンドポイント管理ツール部門）においてリーダーとして評価されたほか、IDC MarketScape：Worldwide Client Endpoint Management Software for Windows Device Management 2025–2026 Vendor Assessment、および The Forrester Wave™：Endpoint Management Platforms, Q2 2026 においてもリーダーと位置付けられています。

タニウムがどのように自律型 IT «Autonomous IT» でアンストッパブルなビジネスを実現しているかについては、www.tanium.jp と LinkedIn をご確認ください。

日本法人名：タニウム合同会社
グローバル代表 CEO：オリオン・ヒンダウィ
日本代表執行役社長：原田英典

External Use\General Business - Not Confidential

設立年：2007 年
設立年（日本）：2015 年
所在地（日本オフィス）：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2 丁目 6-4 常盤橋タワー25F
事業内容：自律型 IT（Autonomous IT）プラットフォーム『Tanium Autonomous IT Platform』の提供
URL：https://www.tanium.jp/

**■免責事項**

タニウムの計画、方向性、および意図に関する記述やコンテンツは機密情報であり、タニウムの単独の裁量により予告なく変更される場合があります。将来の製品または機能に関する情報は、タニウムの全般的な製品の方向性を示すことを目的としたものであり、購入の意思決定の根拠とすべきものではなく、また、いかなる契約にも組み込まれるものではありません。これらは、確約、保証、または法的義務を構成するものではありません。将来の製品または機能の開発、リリース、および提供時期は、タニウムの単独の裁量に委ねられています。

©2026 Tanium Inc. All rights reserved. Tanium は Tanium Inc. の登録商標です。その他の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。